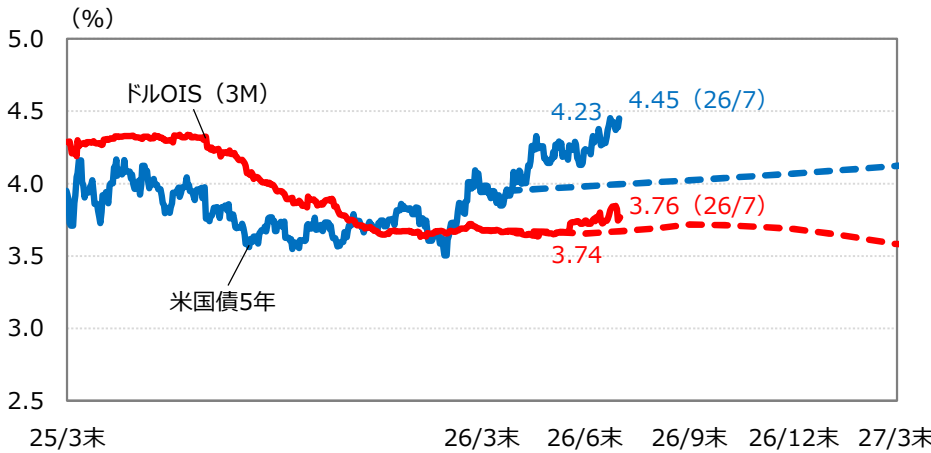
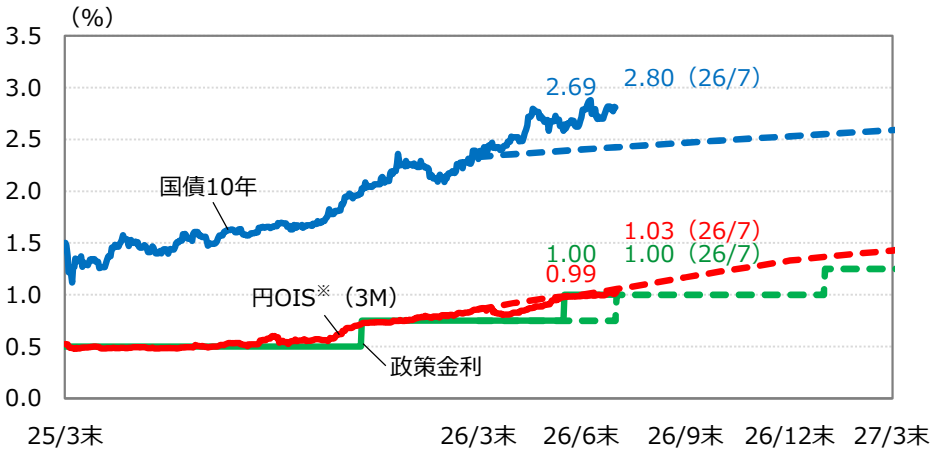


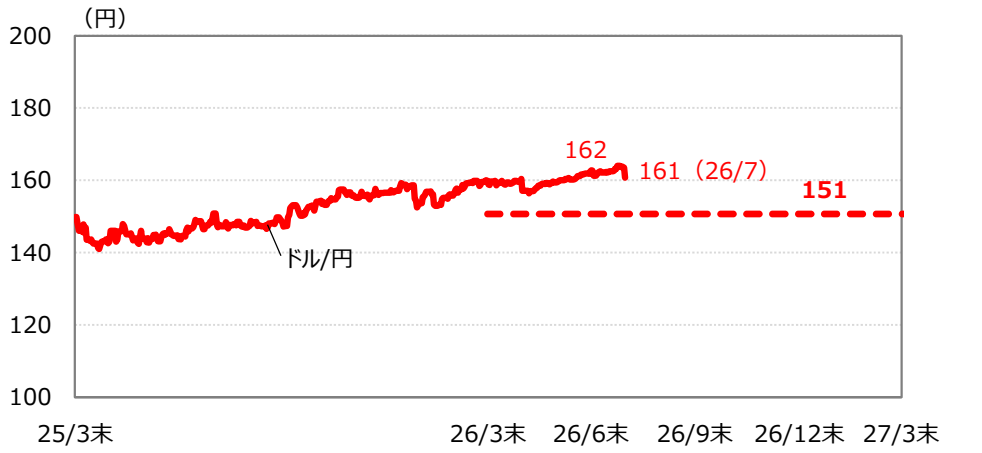
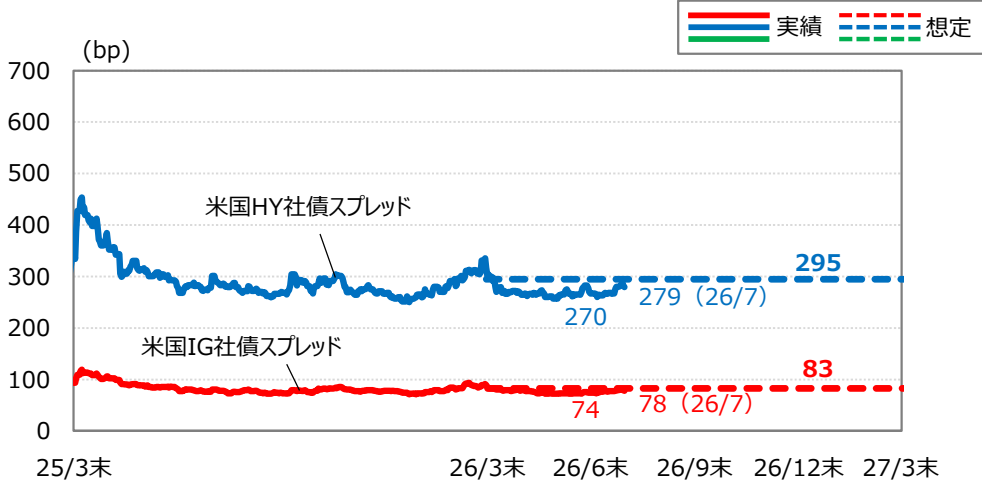
日銀の政策金利引き上げについては、26年度は2回の追加利上げを見込む

内外金利については、26年3月末のインプライド・フォワードレートに沿って推移する想定
海外のクレジットスプレッド及び為替については、25年度の平均値で推移する想定

内外金利



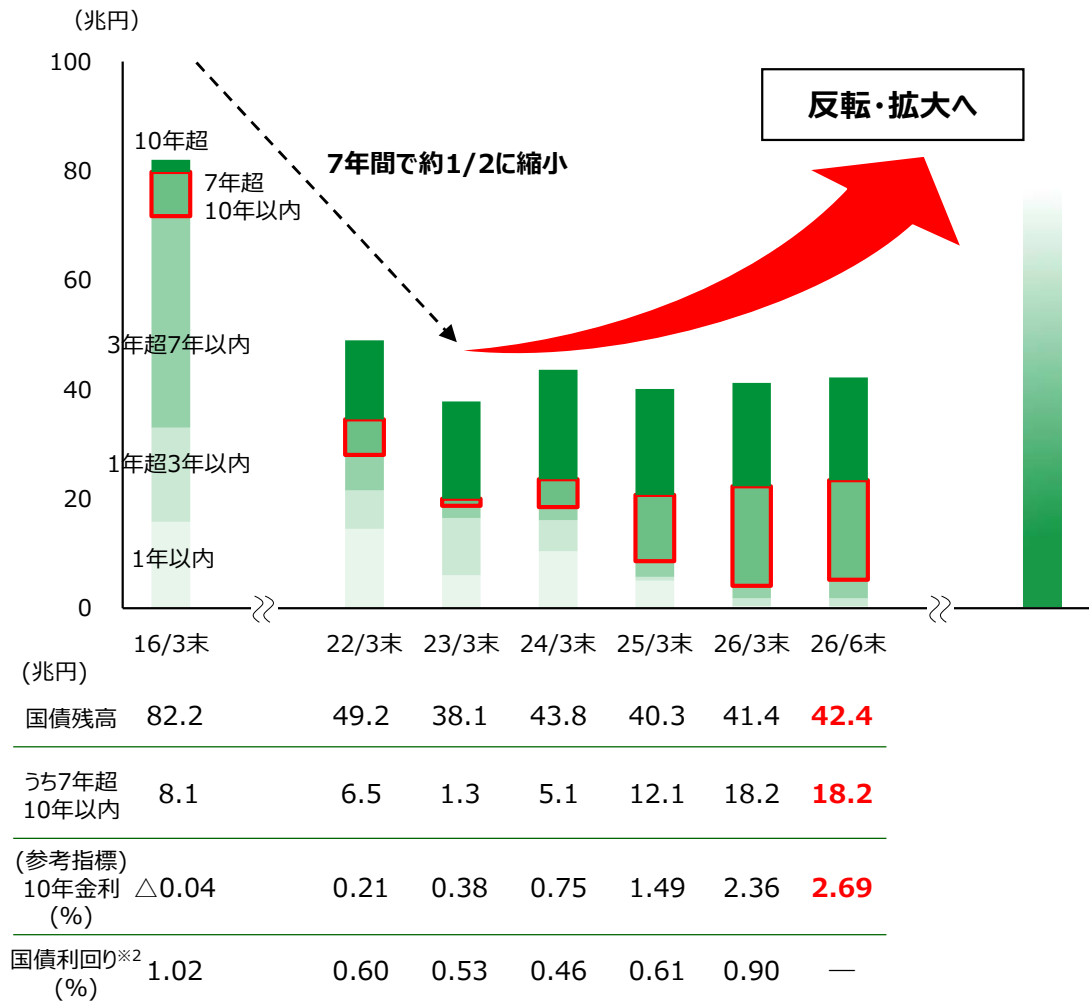
米国IG・HY社債スプレッド／ドル円



※ OIS (Overnight Index Swap) : 翌日物金利を参照する金利スワップ

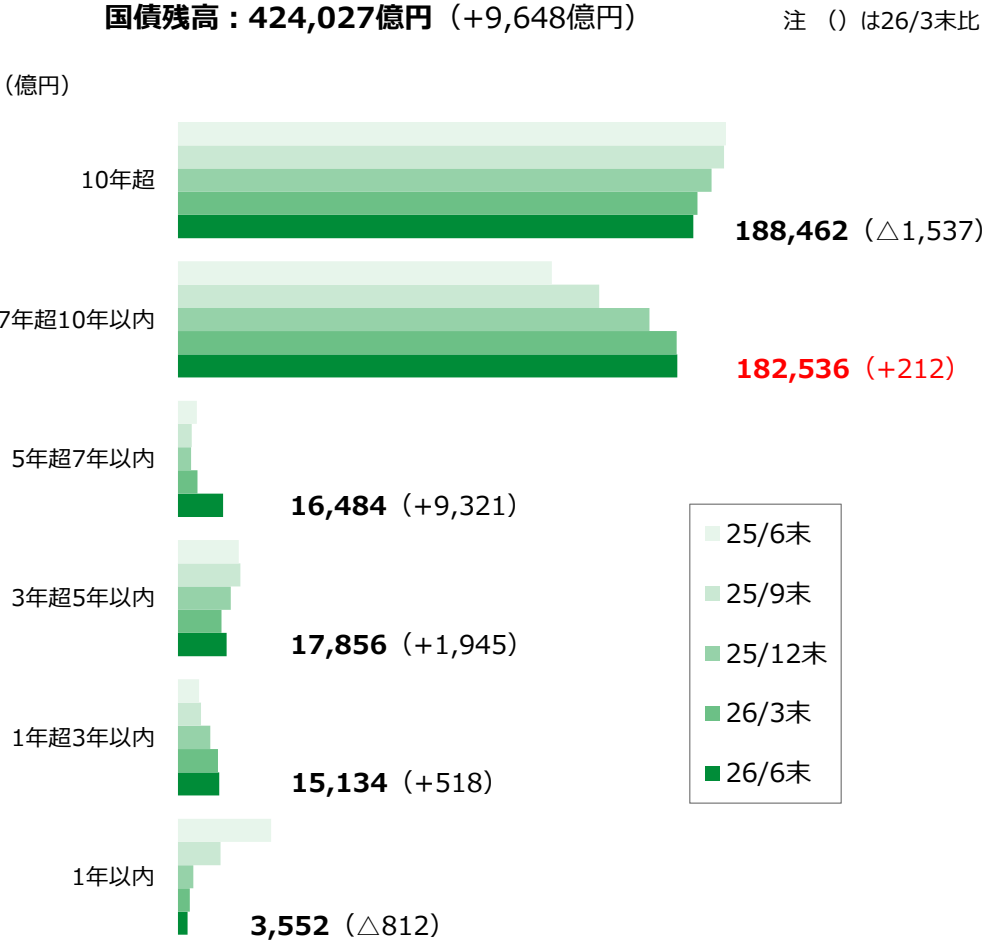
円金利上昇トレンドを捉え、国債への継続的な投資を実施、利回りは大きく改善

国債保有残高※1



※1 金銭の信託で保有する国債は含まない
※2 国債利息／〔（前期末国債残高＋期末国債残高）／2〕×100で簡易的に試算したもの

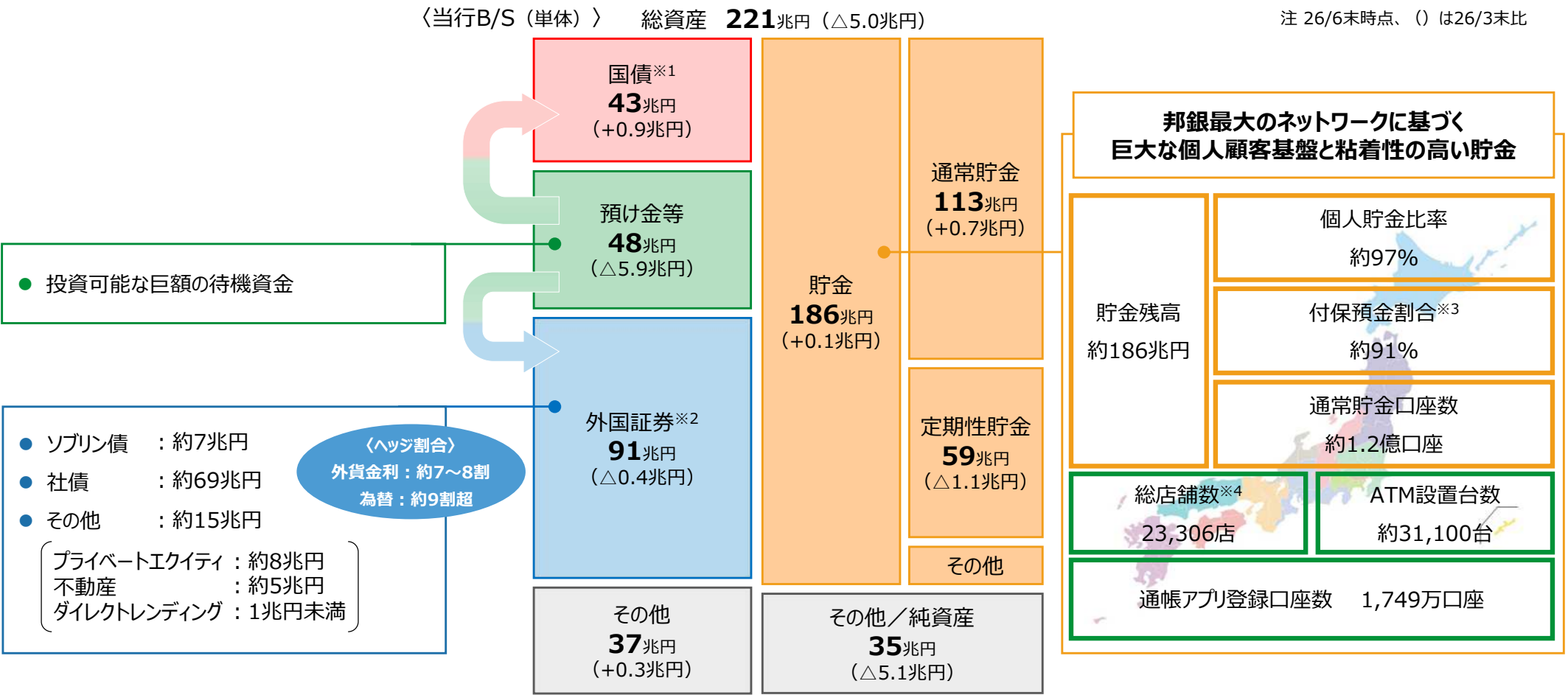
残存期間別の国債残高※1（26年6月末）



〈保有目的別残高〉
満期保有目的：319,774億円（＋11,256億円）
その他目的：104,252億円（△1,607億円）

安定的な貯金基盤の下、リスク耐性の高い運用ポートフォリオを追求

小口の個人貯金を中心とする安定的な資金調達基盤・貯金残高を維持・継続
リスク管理を深化しつつ、円金利資産（日本国債、預け金等）とリスク性資産（外国証券等）を組み合わせた最適な運用ポートフォリオを追求



※1 金銭の信託で保有する国債を含む
※2 金銭の信託で保有する不動産ファンド、ダイレクトレンディングファンド、インフラデットファンドを含む
※3 預金保険法に定められた預金保険制度対象預金等相当額（概数）が貯金残高に占める割合
※4 26/3末時点、郵便局数を含む